



循環器・呼吸器病センターだより 42号



盛夏の候、先生方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。



ことし1月30日付けで地域医療支援病院の名称承認を受け、4月から地域医療連携室を発足させました。地域医療の向上のため、医療機関のかかりつけ医機能の支援に努めて参りたいと存じます。

また、最新の256スライスのMDCTを導入し、さらに精度の高い診断が得られることと期待しております。

今後とも、皆様の御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

病院長 今井 嘉門



地域医療連携室の取組

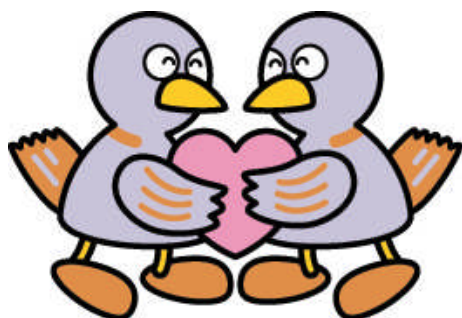
副病院長(兼)地域医療連携室長 佐々木 達海

循環器系疾患及び呼吸器系疾患に関する専門病院として、高度先進医療を提供し、地域医療の向上のために、患者さんの診療はもちろんのこと、医療に関する研修などを通して医療機関と密接な連携をさらに進めたいと思います。

この4月に、室長以下6名(うち兼務3名)で地域医療連携室を発足いたしました。

これまでの取組状況は、次のとおりです。

- ①医療社会事業職による医療福祉相談業務
- ②医師、社会福祉士、看護師及び関係機関との連携による退院支援
- ③感染症対策研修や看護研修への地域医療従事者の参加機会拡大
- ④紹介元医療機関への紹介患者情報に関する連絡強化
- ⑤当センター検査機器(放射線検査・生理検査)の共同利用準備



今後は、体制の充実が課題となるところですが、地域医療の連携がより円滑に進むよう取り組んで参りますので、皆様の御指導、御協力をお願いいたします。

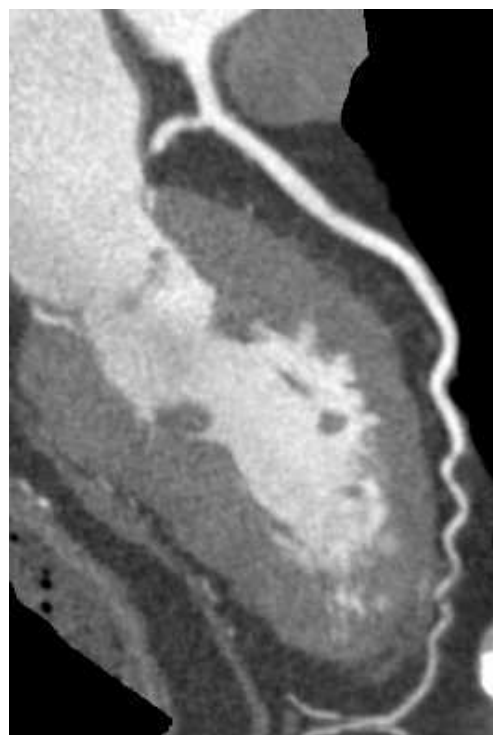
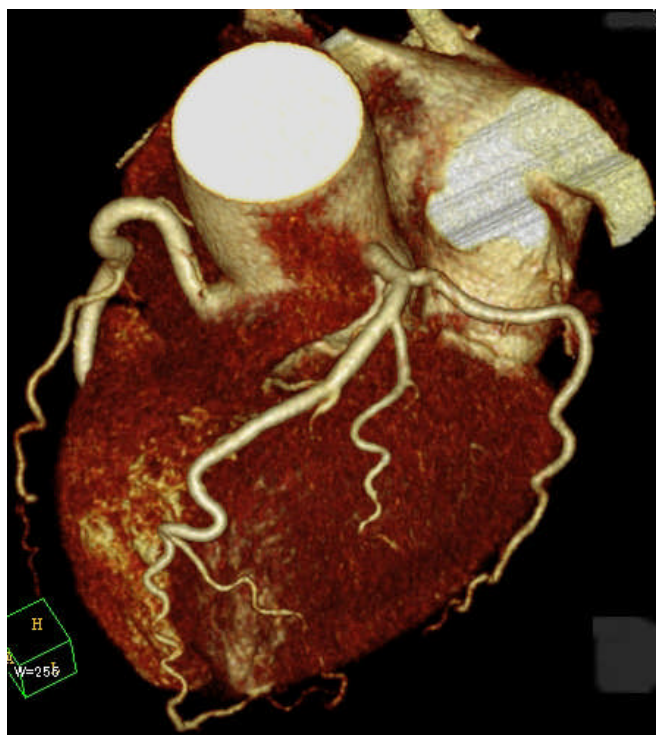
新しいMDCT装置を導入しました！

放射線科 星 俊子

平成21年4月から、新しいMDCT装置(フィリップス社製Brilliance iCT)が稼働を始まりました。今回のCT導入にあたっては、冠動脈CTを簡便にきれいに撮影でき、診断が容易であること、さらに、大動脈やその他の血管疾患の診断および呼吸器領域の診断にも有効であることを考慮しました。

この装置は、管球回転速度が一回転0.27秒と現在世界最速で、検出器は体軸方向に128列ならんでおり、データ量は2倍取得できる256スライスCTです。検査を見ていただくと撮影が非常に早いことに驚かれるでしょう。これらの特長を使うことによって高心拍の患者さんにも対応でき、不整脈への対応も良好です。約5秒の呼吸停止、50ml以下の造影剤の静注で冠動脈病変の診断が可能です。冠動脈スクリーニングのみならず、冠動脈狭窄病変のカテーテル治療後の経過観察や冠動脈大動脈バイパス術後の経過観察にも有用です。高度な石灰化病変やステント内から分岐する枝の評価などは一般的にはCTによる評価が難しいといわれています。新装置を用いてどこまでCTで診断可能かということは、現在循環器内科で検討をしています。将来的には、冠動脈病変の診断の多くの部分がCTで行われ、治療が必要な場合に心臓カテーテル検査を行う、というように検査の住み分けがされることになるでしょう。さらに、心臓カテーテル検査では判断が難しい血管壁の性状やアテロームの性状がCTでわかる可能性があります。これらの情報を臨床上でどのように役立てていくかは今後の検討課題です。

これまで心臓カテーテル検査が冠動脈疾患診断の標準とされてきましたが、日常簡便に使用できる完成度の高い冠動脈CTの導入によって検査法の選択肢が増えました。冠動脈疾患の診療プロセスの変革が始まっていると感じるこのごろです。



大動脈瘤に対するステントグラフト留置術

心臓血管外科 蜂谷 貴

胸部および腹部大動脈瘤に対する外科的治療は開胸または開腹による人工血管置換術を標準術式としてまいりました。近年、血管内治療の進歩から、金属ステントをダクロンやePTFEで被服したステントグラフトが開発され、この領域の新しい治療法と認知されています。その利点は開胸開腹を必要としないことから低侵襲手術で従来合併症や高齢などの理由で手術不適応とされた症例も治療可能です。しかし欠点としては、欧米では5年および10年成績が報告されていますが、本邦では現時点での長期遠隔成績が不明な点です。胸部での適応は下行大動脈の真性瘤に限られ、左鎖骨下動脈および腹腔動脈分岐部から中枢・末梢に瘤まで最低2cmの距離が必要です。腹部では瘤のネック長15mm以上やネック角度60度以下、末梢腸骨動脈の拡張の有無などの形態的適応が決まっています。そのため治療が必要な腹部大動脈瘤うち、ステントグラフト留置術が可能な症例は30～60%程度とされています。

現在胸部で2機種、腹部で3機種の企業性ステントグラフトが保険適応とされ臨床で使用されています。その基本術式は片側または両側の大腿動脈から18～24Frのシースを挿入して目的部位にすすめ留置するというものですが、それぞれの機種のコセプトから手技に違いがあります。

ステントグラフト留置術を実際に行うためには、関連11学会からなるステントグラフト実施基準管理委員会の施設基準を満たした施設で審査された実施医が手術を施行する必要があります。センターでは実施管理委員会の審査をえて、2007年6月からこの手術を導入、心臓血管外科と放射線科が協力し、指導医1名、実施医1名の体制で胸部腹部併せて80例ほどの症例に治療を行っております。

外来診療担当医スケジュール

平成21年7月1日

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器科	石川 哲也 宮永 哲 久保田健之	石川 哲也 久保田健之	宮永 哲 宮本 敬史 鈴木 輝彦 森本 智	宮永 哲 宮本 敬史 鈴木 輝彦 石丸 安明 佐藤 貴彦 ペースメーカー	今井 嘉門 武藤 誠 村上 彰通 銭谷 大	今井 嘉門 武藤 誠 村上 彰通 柏木 雄介	遠藤 彰 仲野 陽介 宮永 哲	遠藤 彰 仲野 陽介 柴山 健理 ペースメーカー	今井 嘉門 遠藤/久保田 中田耕太郎 心臓リハビリ (隔週)	中田耕太郎 柴山 健理
循環器小児科					小川/菱谷	小川/菱谷				
心臓血管外科			蜂谷 貴 高倉 宏充	蜂谷 貴			佐々木達海 小野口勝久	佐々木達海	花井 信 山崎 真敬	
脳神経外科	城下 博夫 猿田 一彦	幸田俊一郎 猿田 一彦			城下 博夫 高室 暁		当番制	当番制	城下 博夫 高室 暁	城下 博夫 坪川 民治
呼吸器科 内科	杉田 裕 徳永 大道 宮原 庸介 石黒 卓		杉田 裕 柳澤 勉 倉島 一喜 青木 望		高柳 昇 柳澤 勉 徳永 大道 宮原 庸介		高柳 昇 生方 幹夫 青木 史暁 林/鮫島		生方 幹夫 倉島 一喜 青木 史暁 米田紘一郎	
呼吸器外科	星 永進		高橋 伸政		村井 克己		池谷 朋彦		齋藤 雄一	
消化器外科	長谷川 忠				長谷川 忠				岡田 寿之	
放射線科	叶内 哲 松本 寛子	叶内 哲 松本 寛子			松本 寛子	松本 寛子				
リハビリテーション科	洲川 明久				洲川 明久				洲川 明久	

※1 循環器科の金曜日の遠藤/久保田医師は、それぞれ隔週交代で診察します。

※2 循環器小児科は第1.3.5水曜日は菱谷医師、第2.4水曜日は小川医師が診察します。

※3 心臓血管外科の金曜日の山崎医師は、第1金曜日のみ診察します。

※4 呼吸器科・内科の木曜日の林/鮫島医師は隔週交代で診察します。

※5 重症で緊急な処置を必要とする場合は、診療時間外でも対応します。

※6 受診にあつてのお願い

・当センターは紹介制です。初診の際に紹介状の無い場合は2,620円がかかります。

・初診の方は、原則として午前の診察となります。

※受付は午前8時30分から11時までです。

※脳神経外科は、午後に診察のある日のみ午後も受け付けます。

※放射線科は、月曜・水曜の午後のみ受け付けます。

・当センターは予約制です。事前に電話で予約するように患者様へお話し下さい。

※事前予約のない方は、予約患者さんの診察終了後になります。また、お越しいただいた日に診察できない場合もあります。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

☎360-0105 熊谷市板井1696

TEL 048(536)9900(代)(予約係)

外来専用FAX 048(536)9916 FAX 048(536)9920

ホームページアドレス

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A80/BA01/scrc/>

■当直については、循環器科・心臓血管外科・脳神経外科・呼吸器科の各医師の当直体制となっています。